シンポジウム記録 漁獲物の蓄養による品質向上技術

IV-2. 蓄養魚介類を対象とした
新しい流通・情報システムの開発山内和夫
（財）海洋水産システム協会IV-2. Development of a new system in information
distribution for farmed fish

KAZUO YAMAUCHI1

Fishing Boat and System Engineering Association of
Japan, Chuo, Tokyo 103-0027, Japan

蓄養魚介類の高品質を流通・販売業者や消費者に認識してもらい、適正価格で取引されることが重要である。ICTシステム（情報ネットワーク）を活用することで、多様な情報を生産者が効率的かつ容易に登録し、流通・販売業者や消費者に分かりやすく提供することが可能となる。品質情報を、生産段階で容易に登録ができ、生産から販売店までの流通チェーンで効率的に伝達・提供するシステムの開発と実証を行った。

1. 水産物の流通と情報提供の必要性

産地では、「短期蓄養等による品質アップ」などの特長ある商品作りに取り組んでいる。情報提供の目的は、蓄養による高品質化水産物の価値を認識してもらい、適正価格で取引されることである。卸売業者や仲卸業者においては、生産、出荷、販売需要の日々の情報等に加え、定性的な産地情報、商品情報など、新たな需要を喚起して取引を作っていくような情報の収集、提供の取組を強化する必要がある。

2. 蓄養による高品質化水産物の情報

蓄養による高品質化した鮮魚に関する提供情報は、①鮮魚情報（漁場、漁期、原産地等）、②鮮魚の取扱い方に関する情報（生産者情報、産地情報、漁法、蓄養方式と効果、活締め方法、鮮度保持対策、安全衛生対策など）、③鮮魚の品質評価比較に基づく情報（蓄養魚と一般魚の比較による蓄養効果の定性的、定量的な説明）および④生産流通履歴情報（漁獲海域、漁獲日時、生簀投入日時、出荷日時、重量、脂肪含有量など）がある（図1）。

3. ICT（情報通信ネットワーク）を活用した情報提供システムの開発

短期蓄養した鮮魚の生産、流通、販売を通じた情報収集、保存、提供方法をモデル化し、効率的で実用的な仕組みを開発した。情報登録、閲覧システムはインターネット上のサーバアプリケーションとして提供される。利用者はWebサイトのホームページから情報の登録、閲覧を行う。携帯インターネットからでも情報閲覧ができる。鮮魚に対応する情報は魚箱や販売パックに貼付したラベルで識別する（図2）。

商品名	恵比寿あじ
	事業者名	第28金比羅丸
メッセージ	「恵比寿あじ」とは、海上・漁業の神、商売繁盛の神として信仰されている、恵比寿様にちなんで命名しました。召し上がった皆様が、恵比寿顔になり、福の神にあやかる事を願って、心を込めてお送りします。是非、一度ご賞味下さい。 【恵比寿あじ】 頭が小さく、よく肥えて尾柄のたくましい、体長20cm以上の真あじです。光沢と、押さえたときの身の張りを確認。ただけじゃ、ほかのあじとの違いは一目瞭然です。
	出荷日時	2009/12/15 02:10

図1 提供情報（抄）

図2 情報の閲覧例

4. 水産物情報提供流通実験と今後の課題

消費地市場関係者への情報提供では、生産地で商品（魚箱）に商品識別用ラベルを同梱し、全国19か所の消費地市場へ20日間に渡り、1500箱を出荷した。情報閲覧実績は出荷箱数の10%程度であった。情報内容と提供方法に対し、高評価を頂いた。

消費者への情報提供では、量販店の鮮魚売場で商品（トレーパック）に販売ラベル（商品識別用）を貼付して販売した。販売店舗から、「情報のついた水産物は、消費者に対して品質や安全性をアピールでき、販売員にとっても、商品の知識が増え、履歴も明確なので、自信を持って販売できる」と評価された。

システムを適用する場合の課題は導入運用コストである。特に生産者では、情報の収集、制作および登録作業と、情報システム利用に費用が発生する。情報提供が売上や利益の向上に繋がることで普及、活用が進むと考えられる。